



調布市は、令和7年4月1日に市制施行70周年を迎えました



令和7年(2025年)
No.1790

6/5

市報

ちようふ

CONTENTS(主な内容)

- 第40回調布花火協賛募集..... 2
- 令和6年度下半期の財政状況..... 3
- もっとたくさん本を読もう! 調布で頑張る本屋さん..... 10
- スポーツピックアップ..... 12

第40回

調布市制施行70周年記念

調布花火 開催決定

40回の軌跡

あなたとともに

協賛募集

9月20日(土)

開会式/午後6時~(予定)
打ち上げ/午後6時15分~7時15分(予定)
場所/多摩川周辺 ※荒天中止

問 調布市花火実行委員会 ☎042-481-7311

調布花火の協賛募集は2面をご覧ください➡

手をつなぐ樹 464



本来ならば

大の里あつぱれば。千秋楽に豊昇龍に敗れたとはいえ、綱とりの大きなプレッシャーの中で、あれだけ本来の地力を遺憾なく発揮して他を圧倒するのだから、今後の大横綱への成長が楽しみだ。

ただ、恒例の優勝パレードを観ている、瞬間的にあれっと思つた。なぜなら大の里の隣で旗手を務めたのが小結高安だったから。高安はまさに3月春場所の優勝決定戦における大の里の相手であり一瞬違和感を覚えたのだ。だが考えてみれば、たえ土俵上で賜杯をかけて雌雄を決したとはいえ、生涯、不倶戴天の敵であるわけもなし、同じ二所ノ関一門(註1)の親しい先輩後輩の間柄と納得した。それとてつきに少し古いことを思い出した。昔は、一門間の力士同士は本割(註2)では対戦しなかった。だから大の里、高安などの取組はあり得なかつたはずだ。部屋別総当たり制度が大相撲に導入されたのは60年前の昭和40年だったとのこと。その大きな制度改正のおかげで多くの新たな魅力ある取組が実現し、そのことにより一層の切磋琢磨の中で各力士の技量も高まり、それが手に汗握る熱戦の増加をもたらし相撲人気に拍車をかけたと言われている。やはり、何事も開放的な制度のもとで自由に競い合う環境が確保されるからこそ、向上心に満ちた競争の中できまじまな好循環が生まれてくるのだろう。と、多国間の交易もそうあるべきと、何十年にもわたり各国が協調の上で努力を続けてきたのはなかつたですか。トランプさん

調布市表

友友貴樹

(註1) 所属は、大の里が二所ノ関部屋。高安は二所ノ関一門の田子ノ浦部屋。(註2) 発表された取組表に基づいて行われる正式な取組。優勝決定戦は本割以外の取組。



◀配布中止
連絡フォーム

市報ちようふは、
市閲でもご覧いただけます

